

# 認定NPO法人ぱれっと 2024年度 事業報告書

## 1 はじめに

年度はじめより、障害福祉サービスの報酬改定、介護保険、訪問介護の現地指導があり、合わせて、新規事業「グループホームおれんじ」の開所も重なり、混乱の中からのスタートになった。また、物価高、コロナやインフルエンザの感染など、マイナスのイメージは払拭できずに過ぎ去ったように思われる。また人材も不安定な状態にあり、今後課題になっている。

今年度の事業の状況を確認しながら、20周年を迎え、節目になる次年度は、将来に向けて活気づくものとしていきたい。

### 1) 重点目標

新設グループホームの運営の安定化及び、次のグループホーム（男性用）に向けた準備を掲げた。4月に「グループホームおれんじ」を開所し、4月～5月は体験、6月より本入所としてスタートし、定員5名の利用が始まった。事務長、スタッフの努力もあり、少しずつ運営も軌道に乗りつつも、職員不足の問題が継続して残っている。

### 2) 採用の拡大

昨年度に、「継続人材の確保と定着を図ります。短時間正社員雇用の拡大などをより進展させます。」と目標を設定した。短時間正社員を含めた就業規則に変更し、子育てや介護に対応できる規則にした。また、勤務のあり方を月単位の変形労働時間制を役立てる形で、希望する勤務に合わせる、またそのような働き方を受け入れる社風の構築にもつながってきたと思われる。

しかしながら、数名の退職者が出るなど人材を失う状況も生まれている。「働き続けたい職場とは？」というテーマに真摯に取り組むことが必要であると改めて実感する。

### 3) 次世代育成を継続

継続し育成を図ります。ベテランで次世代の柱となるべき職員の退職があった。次世代育成は、当法人においては、大きな課題であると改めて実感している。一部の職員に大きな負担がいき、全体的な底上げができていないことも理由と考える。全事業の職員が調和し学び底上げする形を次年度は立案し実施していきたい。

## 2 特定非営利活動に係る事業の報告

### 1) ヘルパーステーションコラージュ

※定款(1)4、8、9、10、11、15、16

## 報告

2024年度、サービス提供責任者として、1名採用。

登録ヘルパーでは、退職や仕事量を減少したいという要望もあり、サービスを継続するため職員がサービスを提供し、仕事を増やしたい登録ヘルパーには、新規利用者の受け入れや職員が入っていたサービスを引き継ぐなど限られた人員で調整を行う状況だった。

訪問サービスでは、利用者とヘルパー間の関係が構築できずに終了となったケースもあった。

事務時間の確保が難しく、サービスとサービスの間や空いた時間の業務となっている。

サービス提供については、平日は、お風呂や散髪、プールなど利用者の要望に沿った活動を行っている。週末は、グループガイドでの外出で、少しでも楽しい外出をしていただけるよう季節のイベントやレジャー施設への外出、利用者からの要望に沿った活動、複数の行先の写真から利用者を選んでいただく機会も設け、配慮したサービスを提供することができた。

登録ヘルパーの退職が相次ぎ、正規職員も退職が相次ぎ、年明けよりサービスを減少することになった。利用者の皆様にも迷惑をかけることになった。当初より減収となってきたが、これによりさらに収益が減少した。次年度には立て直しが必要になる。

研修については、年間予定に基づき実施が来ている。次年度も継承していきたい。

## 目標への成果・評価

- ・土日外出支援の強化については、平日のニーズもあり、調整が難しい中、少しずつ、提供することができている。しかし、強化や収益アップ、利用する利用者の拡大にはつながらなかった。
- ・安定したサービス提供できる利用者の確保やキャンセル時の利用調整については、各サービス提供責任者が行うことができた。
- ・変形労働時間の体制への配慮として、連休や連勤の配慮を行ったが、一日のサービスが立て続けに入っているため、事務時間の確保など環境整備は行えなかった。

## 【イベント】

- ・クリーンウォーク・・・6月29日(土)

西と東方面に別れて、  
ゴミ拾い



頑張った後は、  
お弁当タイムと映画鑑賞



クリスマス会 ……12月14日(土) こぐまくらぶ事業所 喫茶エール

ボランティアさんによる  
紙芝居、三線などの出し物

サンタ登場～♪

みんなで装飾づくり  
完成したツリーの前で  
記念写真



### 【ヘルパー研修】

- ・第1回 ・『防災(災害)について』 講師:岡 邦彦氏 、 大野 佳歩氏
  - ・『食品の安全、安心の取り組みについて』 講師:湯木 麻里氏
- ※感染症含む



- ・第2回 ・『対応の難しい利用者との体験から学びあう』 講師:近澤 範子氏
- 事例検討、演習



- ・第3回 ・『旧優生保護法(権利擁護)、不適切ケアについて』 講師:川田 晋
- ※虐待・身体拘束を含む
- ・『持ち上げない介護技術』 講師:吉持 順也
  - ・『接遇マナー～好感度、トラブル、メンタルコントロール～』 講師:絹田 雅之



【毎月研修】 ※5月、9月、2月は上記の内容で実施。7月、11月はミニ研修。

- 4月 各利用者支援計画、利用者状況確認、事業計画、法人の理念と方向性の確認。
- 6月 接遇マナーについて
- 7月 ハラスメント、サービス利用者についての意見交換、事例検討
- 8月 プライバシー保護、サービス利用者についての意見交換
- 10月 介護技術、窒息時の対応、サービス利用者についての意見交換
- 11月 緊急時の対応、事故発生、再発防止
- 12月 BCP 業務継続計画、消火器の使い方訓練
- 1月 倫理と法令遵守について
- 3月 認知症と認知ケアについて



コラージュ利用人数(重複利用者・契約者含む)

居宅介護	20名	重度訪問介護	1名	同行援護	2名	行動援護	32名
訪問介護	2名	介護予防	2名	神戸市移動支援	49名	明石市移動支援	9名
淡路市移動支援	1名	たすけあいサービス	14名			合計	132名

## 2)多機能型事業 地域支援事業所ぱれっと(就労継続B型事業 生活介護事業)

### ※定款(1)4

#### 報告

利用契約者の増加、利用者の利用満足度(利用頻度)の向上を年間テーマに挙げていたが、利用者を増やすことはできなかった。利用満足度に関しては満足度どころか、職員の不適切な言動とその後の対応の悪さから長期の欠席者を出してしまった。また、年度途中での退職者があり、体制的に厳しい時期もあったが、逆に残った職員で協力しあいながら新たな体制を作り始めることが出来てきている。年度の後半には、新たな人材も迎えることが出来、次年度に向けて希望が見え始めている。

#### 目標への成果・評価

事業収益増を目指した就労継続支援B型と、生活介護の再編には至らず、いずれの事業も定員の上限まで利用者の確保が出来なかった。次年度は、引き続き利用者の確保は行っていくが、それよりも今利用している利用者の満足度の向上を優先していきたいと思う。

人員体制は、6:1の支援体制をとることができた。

工賃支給額は、前年度より少しアップしたが、報酬単価のもう一つ上のランクまではアップすることは出来ていない。

#### 【イベント】

- 4月5日(水)花見外出
- 12月29日(金)忘年会
- 1月20日(土)日帰り旅行
- 就労&生活介護 家族会(年2回)

9月7日(木)13:30～15:30

3月7日(木)13:30～15:30

#### 【作業関係】

屋内、屋外でこれまで取り組んできた作業の継続と、新たな玉津支所(元区役所)での玉津ラボ(紙リサイクル)、玉津マルシェ(販売)での活動も軌道に乗ってきた。

屋内での下請け作業は、ミスが続くことがあり、仕上げ後のチェックの仕方等を見直し、その結果出来高が減少する事になったが、ミスをなくすことに今は重点を置いて取り組んでいる。

屋外作業では、個人宅の除草作業で、コープくらしの助け合いの会からの紹介で新規の問い合わせが増えた。無理のない範囲で調整をしながら受けている。竹林整備作業は、前年度からの継続で、神戸市(企画調整局、都市局)、伊川谷小寺里づくり協議会、個人、からの依頼を受けて年間を通して取り組んできた。

多機能利用者数 就労継続支援B型事業 17名 生活介護 5名(令和6年3月31日現在)

### 3) デイサービス(地域密着型通所介護 介護予防通所介護 共生型生活介護)

※定款(1)4、10、11、12、13

#### 報告

2024年は「土曜日開所」「利用者さんの利用日増加」「新規利用者さんの獲得」などがあり、月曜日～土曜日の平均利用者数は全体的にアップしている。収入も赤字ながら回復傾向にある。だが、「利用者さんの入退院の繰り返し」「長期入院」「今期の寒さでの体調の悪化」などで全員が揃うことがかなり少なかった。利用者さんや利用回数は増えているが、収入がいまいち伸びない結果となった。

それでもレクリエーション活動は毎年進化しており、参加人数も増えている。特に創作活動は実施する回数が増えて、毎日のように行う週もあった。スタッフが動画などを見て、利用者さんにも楽しんでもらえるように改良(手作りのモルック、マンカラ、創作物)などを行い、皆で楽しむことができた。

#### 目標への成果・評価

《2024年度の目標》

- ① 土曜日開所を目指す  
➡夏頃より隔週2日開所。平均5名ほど通所
- ② 月曜日～土曜日の内、週5日は利用してくれる多くの利用者の獲得  
➡週5とはいかなかったが、週2週3に増えた利用者さんが複数名いた
- ③ 駄菓子屋×図書館カフェのイベント日程を固定(第2・4土曜など)にして地域に根差したイベントにする  
➡担当職員の退職もあり継続が難しく、年度途中までの開催となった。
- ④ スタッフの年齢層に偏りがあるので、もう少し若い世代のスタッフの獲得  
➡今年1月よりアルバイトで20代男性スタッフが採用。いずれは正規職員を目指している。
- ⑤ 共生型児童デイサービスの検討  
➡検討する機会がなかった。

## 《経営目標》

・令和6年3月現在の150%

→土曜日開所や利用者さんの利用回数増加の効果もあり、昨年に比べると赤字は減っている。

## 【イベント】

・4月(3月)…花見 ・8月…納涼祭 ・10月…ハロウィーン週間

・12月…アートシップ明石見学&クリスマス会 ・2月…節分(巻き寿司提供)

※歳末たすけあい募金助成金(計10万円)で「納涼祭」「クリスマス&忘年会」を実施。



## 【活動内容】

- ① 身体機能の維持、健康面に留意した活動  
(ストレッチ ラジオ体操 口腔体操 機能訓練(あんまマッサージ) 歩行訓練など)
- ② 脳を活性化する活動  
(サイズアップゲーム 指の体操 テーブルゲーム 計算・漢字プリント 塗り絵など)
- ③ 新しく体を使うゲームやスポーツを探して取り入れる
- ④ イベントの企画  
(その季節に応じたミニ外出・ゲームなどを作成)
- ⑤ 創作活動  
(ARTSHIP明石に参加予定)
- ⑥ ボランティアさんを含めた活動
- ⑦ 誕生日のおやつのおしゃリング
- ⑧ アルミ缶つぶし(軽作業)

デイサービス利用者 計21名

・地域密着型(要介護)4名 ・介護予防通所介護(要支援)4名 ・共生型生活介護13名

## 4) 相談支援事業

特定相談支援 一般相談支援 障害児相談支援

※定款(1)6、7

## 報告

4月より、1名増員の相談支援専門員4名の体制で実施する。行政関係や相談支援センターからの要請

を中心に新規利用者の受け入れも行ってきた。トータルとして年間で約 25 名の新規受け入れがあった。一方で次年度 1 名の退職が決まったため、3 月より約 20 名の方の他事業所への移行も進めている。

地域移行支援も希望は少ないながら 3 名の方の地域移行(いずれもグループホームの利用)があった。2 名はすでに退院され新規の生活を送られている。あと 1 名も行先などは決まるも体調の関係から退院が間に合わなかった。

相談支援事業所の連絡会への参加等、自立支援協議会の相談支援事業所連絡会には、西区、明石市へは継続して積極的に参加、新たに垂水区への参加も始めている(指定地域に入る)。

また、特定相談支援ネットワークを形成し、協働型モデルの神戸市への提案、事例検討会などの実践も行っている。

広域的な活動では、相談支援専門員初任者研修のファシリテーター、神戸市基幹相談支援センター主催研修の参加、地域移行支援定着支援推進会議、ピアサポーター養成研修などにも依頼を受け参加をしている。

## 目標への成果・評価

・機能強化型体制Ⅱを維持していく。また、新しい相談支援専門員を採用し育成していく。

⇒機能強化型Ⅱを維持してきた。協働型の開始により、10 月より、機能強化型Ⅰを算定することになった。

1 名増でスタートしたものの一年で退職することになり、新しい相談支援専門員を採用するには至らずで結果として 1 名マイナスでの次年度スタートすることになる。

・神戸市と交渉し他の特定相談支援事業所と連携する、「複数事業所における協働型モデル」ができるようになったことは大きな成果で、兵庫県で初めての実践になる。

・相談支援専門員の資質の向上(研修等の積極的参加)

⇒研修には可能な限り参加した。

・TS ネット W での月 2 回の定期的な会議及びケースカンファレンスの実施。月に 1 回の全体会議(事例検討含む)を概ね実施することが出来ており、相談支援専門員の資質向上に役立っている。

※TS ネット W 協定を結んだ事業所 こぐまくらぶ とともに のぞみ

TS ネット W でつながった事業所(TS ネット C) すずらん相談支援事業所 レキップ相談支援事業所  
誕生日ありがとう ウィズ 計 8カ所

## 《経営目標》

・ひと月に 50 名以上の計画・モニタリング等が出来る。

⇒月によるが、少なくとも 50 件以上、多い月は 80 件以上の支援を行っている。

・加算等の収益を適切に得る。

⇒モニタリング加算 集中加算等の新設されている加算に関しては書類を作成するなどを行い加算の実績につなげることが出来ている。主任相談支援専門員加算Ⅰを算定することが出来るようになったため、収入もかなり増加している。

※報酬単価が低く収益事業として成立しにくい事業だが、神戸市の補助助成金を活用し収入を得た。それらにより、万年赤字事業から黒字化にすることができた。

・相談支援専門員の獲得及び育成(次年度以降を見据えた体制をつくる)

⇒経験ある相談支援専門員が入ったが、退職が決まっている。その他の相談支援専門員の獲得・育成

にはつながらなかった。

#### 【活動内容】

特定相談支援、障害児相談支援におけるサービス等利用計画の作成、モニタリング報告書の作成、それに係る基本相談、事業所や病院への同行、関係機関との調整なども行う。

地域移行支援については、精神科病院からの退院後の生活のコーディネート等を実施。今年度実施の3名については、特性相談支援及び地域移行支援を並行して実施している。

特定相談支援 224名 障害児相談支援 5名 一般相談支援 3名 計 242名(3月)  
他事業所移行予定者 20名含む

#### 5)グループホーム(共同生活援助)

##### ※定款(1)4

##### 報告

グループホームおれんじを4月に開所。体験利用後4名が6月から、1名が7月から本利用となり、現在は定員が埋まっている。ただ、一週間を通しての利用は3名に留まっており、収益は当初予定していたより減収になっている。まずはグループホームでの生活に慣れる事を優先し、少しずつ利用日数を増やしていけたらと考えている。

今年度のほわいとはコロナに1名罹患したが、他に感染する事なく終息。感染症対応に追われる事は少なかったものの、他の緊急通院が多く対応が大変だった。入院もあり、他事業所の職員にも応援に入ってもらい対応した。65歳を迎えた利用者さんもあり、今後、体調面への支援強化や緊急通院も想定した準備をしていく必要があると感じている。

物価高騰により食費が足らず、しかし利用料を引き上げる事も出来ないため、行事費の2,500円を1,500円に変更し、食費を18,000円から19,000円に変更し対応している。

##### 目標への成果・評価

##### 《2024年度の目標》

- ① アセスメントを丁寧に行いおれんじをスタートさせる  
各利用者宅に訪問しアセスメントを実施。アセスメントを元に支援方法等を検討し実施出来た。
- ② おれんじでの生活を定着させ、月曜日から金曜日まで宿泊を行う  
現在月曜日～金曜日までの宿泊は3名に留まっており達成できていない。  
まずは生活に慣れる事を優先し、次年度も引き続き取り組む。
- ③ 個別支援計画作成会議で支援を協議、職員共通認識にして支援に取り組む  
会議を通して支援について話合うことが出来た。しかし、統一出来ていない事も多く、難しさを感じている。

④ 余暇活動の充実(土曜日の過ごし方)

世話人と一緒に調理やお菓子作り等実施。昨年も取り組んでおり、広がりはない。  
みんなの希望など聞きながら外にも出ていきたい。

⑤ 障害や疾病について理解を深める

行動援護従事者養成研修に3名参加。積極的に参加され有意義だった。  
しかし、参加した職員からはせっかく学んだことを現場で生かしきれていないとのこと。  
繰り返し学ぶことの大切さも感じている。

⑥ 人材の確保、育成

おれんじの退職者が今年度で2名あり、結局減の状況になってしまっている。  
支援の難しい利用者さんが多くいるにも関わらず、一人での対応を求められるため、誰でも支援出来るようにしていかないと今後人が入ってきても結局退職という結果になってしまう。今後の大きな課題。

ほわいと支援者の年齢が高く、また、ギリギリの人数しかいないので、入院等の事態になると対応が一気に難しくなる状況。

どちらのグループホームも若い人材が必要。

【イベント】

季節の行事

【活動内容】

生活支援・余暇支援

ほわいと:利用者(男性)4名 おれんじ:利用者(女性)5名

6) 兵庫県指定従業者養成研修

※定款(1)1、2、3、20

行動援護従業者養成研修

7月6日 7日 14日 20日の4日間でサポートセンター翔にて開催している。

今年度も(社福)明桜会さんの支援を受けての共同での開催となった。

昨年度を上回る33名の方が修了されている。

今年度、同行援護従業者養成研修及び移動支援従業者養成研修は実施していない。

## 7) グループホーム設立・運営委員会

※定款(1)1、3、6

### 第1回グループホーム設立・運営委員会

令和6年6月2日(日) 10:00~11:30

デイサービスフロア&オンライン (Zoom) にて開催

家族等 17名 (内オンライン2名) 職員3名 ドライブ対応有

議事内容 今年度の活動について グループホームの見学について

陽気会 GHの見学報告 今年度の活動について

GHおれんじの状況報告 その他意見交換等

### 第2回グループホーム設立・運営委員会

令和6年10月6日(日) 10:00~11:40

デイサービスフロア&オンライン (Zoom) にて開催

家族等 16名 (内オンライン3名) 職員4名 利用者ドライブ対応あり

議事内容 ぱれっとグループホーム状況報告 グループホームの見学案内

意見交換等

### 第3回グループホーム設立・運営委員会

令和7年2月2日(日) 10:00~11:30

デイサービスフロア&オンライン (Zoom) にて開催

家族等 14名 (内オンライン2名) 職員3名 ドライブ対応有

議事内容 グループホームの見学報告 (縦の木福祉会様)

今年度の活動の振り返り 次年度の活動について 意見交換等

### 第1回グループホーム見学

クレストホームおれんじ (法人のグループホーム)

令和6年6月27日(木) 11:00~12:00

家族等 17名

職員2名



## 第2回グループホーム見学

(社福) 縦の木福祉会      グループホームえーる (かたくりの花 いろどり かなで)

令和6年10月22日(火) 13:00~14:15

家族等 11名      職員 3名

室屋施設長      佐藤副主任      林田施設長 (きゃんばす)



### 8) その他の事業の実施

※定款(1)1 地域福祉に関する調査・研修・発表事業

(1)2 地域福祉の啓蒙・啓発活動事業

定款(1)の1・2に該当する活動を法人主催として実施が出来ていないが、就労プロジェクトなどを行うにあたり啓蒙・啓発の活動にはつながっている。また、枝吉自治会や枝吉小学校区ふれあいまちづくり協議会への参加や、KOBE WEST NET や 135E ネットの活動を通して地域福祉に関する調査・研修・発表事業に値する事業が実施することができている。

## 9)未実施の事業

※定款(1)14、17、18、19

上記定款の事業においては、令和6年度は機会が持てず実施できなかった。必要性が出た場合はただちに実施していく。

## 3 事業実施体制

### (1) 会議に関すること

#### ① 総会 令和6年6月16日(日)10:00~11:30

正会員数総数 31名 出席者数 26名(内委任状出席 21名)

令和5年度事業報告 令和6年度事業計画

#### ② 理事会

○第1回 令和6年5月28日(火)18:30~20:30

出席者 9名 内オンライン参加 3名

議事 令和5年度事業報告 令和6年度事業計画案他 総会に向けて

○第2回 令和6年9月13日(金)18:30~20:30

出席者 9名 内オンライン参加 3名

議事 事業経過報告 今年度の予定 意見交換 他

○第3回 令和6年12月13日(金)18:30~20:30

出席 7名 内オンライン参加 3名 委任状 1名

議事 事業経過報告 短時間正社員制度 マイカー使用規定 他

○第4回 令和7年3月14日(金)18:30~20:30

出席者 9名 内オンライン参加 2名

議事 令和6年度事業報告 令和7年度事業計画等

#### ③ 職員全体会議

常勤職員(正規職員 契約職員)出席

第1回 令和6年11月9日(土) 9:00~10:00 事務連絡について

※BCP研修も実施。

出席 20名

第2回 令和6年3月8日(土) 9:00~10:00 令和7年度事業体制について

※感染予防研修も実施

出席 20名

#### ④ 運営委員会 + 虐待防止・権利擁護委員会 + 身体拘束適性化委員会

所長 事業長 センター長 事務長 課長等役職者 出席 理事にも出席可能日は参加頂く。

4月25日(木)13:30~15:15 9名 5月23日(木)13:30~15:30 9名

6月27日(木)13:30~15:30	9名	7月25日(木)13:30~15:30	9名
8月22日(木)13:30~15:30	8名	9月26日(木)13:30~15:30	7名
10月24日(木)13:30~15:40	8名	11月28日(木)13:30~15:30	7名
12月26日(木)13:30~15:00	6名	1月23日(木)13:30~16:00	7名
2月26日(木)13:30~15:30	8名	3月27日(木)13:30~15:30	7名

議事 各部署報告及び検討事項 運営方針・活動に係る検討、事業運営確認 その他研修等  
虐待防止・権利擁護委員会及び身体拘束適性化委員会も同時に実施している。

## ⑤ 各事業会議

### 1)ヘルパーステーション コラージュ会議

管理者 サービス提供責任者 常勤職員

議題 事業内容 連絡事項 不適切ケアについて 個別カンファレス(策定会議)等

4月6日 5月4日 6月1日 7月13日 8月3日 9月7日 10月5日  
11月2日 12月7日 1月11日 2月1日 3月1日 計 12回

### 2)就労会議

所長 管理者 支援スタッフ

議題 事業内容 作業内容 不適切ケアについて 個別カンファレス等

4月17日 5月15日 6月22日 7月17日 8月21日 9月21日 10月16日  
11月20日 12月18日 1月15日 2月19日 3月19日 計 12回

### 3)デイサービス会議

デイサービス 共生型生活介護(スタッフ)

議題 事業内容 不適切ケア 個別カンファレス(策定会議)等

4月10日 5月8日 6月12日 7月10日 8月23日 9月11日 10月9日  
11月13日 12月25日 1月8日 2月12日 3月12日 計 12回

### 4)相談事業会議

相談支援専門員

議題 事業運営 情報交換 事例検討その他随時引継等を行う。

4月12日 4月25日 5月23日 5月31日 6月14日 6月22日  
7月12日 7月26日 8月11日 8月21日 9月6日 9月26日  
10月13日 10月27日 11月16日 12月12日 12月29日  
1月12日 1月30日 2月29日 3月19日 3月26日 計 22回

TS ネット 全体会議

10月24日 12月19日 2月26日

TSねっとW

9月2日 9月5日 10月2日 10月16日 11月6日 12月4日 12月18日  
1月8日 1月22日 2月12日 3月2日 3月19日

5)グループホームほわいと会議

管理者 サービス管理責任者 世話人(生活支援員)

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、利用者個別カンファレス等(計画等策定前会議含)

4月19日 6月14日 10月11日 12月20日 2月21日 計5回

6)グループホームおれんじ会議

管理者 サービス管理責任者 世話人(生活支援員)

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、利用者個別カンファレス等(計画等策定前会議含)

4月12日 6月10日 7月8日 8月5日 9月9日 10月7日 11月11日  
12月13日 1月20日 2月10日 3月10日

(2) 研修に関する事

① 外部依頼(講師派遣)

ピアサポーター養成研修のシンポジスト(実践事例について)にて神戸市保健センターより養成があり、枚尾相談支援専門員、川田相談支援専門員が出席して報告等を行った。(各1回実施)

兵庫県より相談支援専門人初任者研修のファシリテーターの一人としての依頼があり、川田が受けている。

神戸市及び基幹相談センター主催の相談支援事業所研修及び神戸市相談支援事業のファーストレベル研修に依頼があり、すずらん こぐまくらぶと一緒に協働型の説明を実施している。

兵庫県ピアサポーター養成研修にファシリテーターとして依頼があり受託している。基礎及び専門研修。

職員全体研修

第1回 職員研修 令和6年11月9日(土) 10:00~16:45

9:30~10:00 BCP研修 法人のBCP(事業継続計画)について説明をして意見交換を行った。

10:30~12:00 筆談を学ぶ「コミュニケーションは言葉だけじゃない」

講師 筆談援助の会 ゆうゆう企画 七野友子氏 中川さん親子(筆談利用者)



中川さん親子(左)と  
七野先生(右)

13:00～14:00 安全運転研修 安全運転協会からお借りした安全運転に関する DVD を通して、安全運転について学ぶ (安全運転管理者 田中副理事長より)。

14:15～16:45

法人理事の紹介及びコメント

ぱれっとの職員へ望むことについて

井澤 孝典理事 (元神戸大学附属特別支援学校 副校長)

現在 就労継続支援 A 型事業所 サービス管理責任者



第 2 回 職員全体研修 令和 6 年 3 月 9 日(土)10:00～15:00

10:00～12:00 権利擁護・虐待防止研修

講師 明石市社会福祉協議会(元明石市基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター ぱれっと センター長) 橘田 浩様



13:00～15:00 ハラスメント研修

講師 日本産業カウンセラー協会関西支部 日本産業カウンセラー協会 山下菜穂子様



② ヘルパー研修 ※コラージュ報告参照

③ 外部研修（研修名 主催 参加者数で記載）

- ・事業所交流会 川田 末本 小松（末本 小松は3月強度行動障害研修時に発表）
- ・支援者ネットワークえぼ 強度行動障害とは 田中 川田 自主参加
- ・兵庫県公安委員会安全運転管理者講習 田中
- ・135E ネット 人権研修会 防災研修 川田（防災研修は田中参加）
- ・サービス管理責任者更新研修 兵庫県 田中 末本 朝日
- ・防火管理者研修 小松
- ・カスタマーハラスメント研修(市民福祉大学) 絹田
- ・介護研修(市民福祉大学) 吉持

今年度もあまり外部研修に参加できていない。グループホームおれんじの職員が中心で法人主催の「行動援護従業者養成研修」に参加している。KWN や 135E ネットの研修については各担当者が参加している。相談支援については、必要な研修に随時参加している。

(3) 広報に関する事

ホームページ

川畑氏との契約を継続し、ホームページの管理をしていただいた。  
各事業所からの報告を細目に更新して頂いている。

法人広報誌の発行 年5回

4月号 新年度の挨拶 新人職員挨拶 各事業より抱負

7月号 総会報告 相談支援事業所 グループホームおれんじ ヘルパーステーションコラ

ー ジュ デイサービスより報告

- 10月号 デイサービス 就労より報告 防災訓練 アートシッピングの紹介  
1月号 新年あいさつ スタッフより(各事業所より新年の抱負)  
3月号 新年度号を必要性より3月に発行している。

デイサービス広報誌発行

毎月発行 月の予定 行事等の報告など

(4) ネットワークに関する事

1) KOBE WEST NET (西区自立支援協議会)

各種ネットワークに参加している。(担当者制にて実施している)

くらす部会(浅井) まなぶ部会(川田)が参加 ※まなぶ部会部会長

就労ネットワークではにしにこショップに参加。また事業所紹介フェアにも参加している。

2) 明石障がい者地域生活ケアネットワーク(135Eネット)

理事(川田) ARTSHIP明石担当(川田) 2月1回理事会 総会 研修会

今年度は防災担当として、BCP作成の研修などに企画運営 ARTSHIP明石も担当し運営に関わった。また、西明石ブロック担当として事業所紹介ツアーや交流会を実施した。ひなたぼっこメンバーとして参加(川田) 2月1回の会議 その他イベントのスタッフ

3) 明石市自立支援協議会

各部会等で行われる連絡会等に参加。主に相談支援事業所の事例検討会、連絡会、交流会等に参加している。

4) 障害者問題を考える兵庫県連絡会(理事長 副理事長が個人会員で参加)

事業所職員交流会は今年度も3度開催された。川田は企画者としても参加している。

5) 枝吉自治会 今津自治会

地域支援事業所ぱれっと グループホームほわいとの所在地域の自治会に加盟している。枝吉自治会では賛助役員として役員会等で活動をしている。安全パトロールにも職員有志で参加している。

今年度は、秋祭りやとんどづくりなどにも参加している。

(5) 地域とのつながり

ふれあいフェスタの開催 令和6年10月27日

今年度も、飲食を含めてのイベントを開催した。

名物の豚の丸焼きを始め、カレーなどの食べ物の他ゲームも実施し、近隣の家族連れの皆様もたくさんお越しただけた。また、ボランティアさんにも応援いただき、手品や歌、紙芝居などのステージの他、豚の丸焼きや食品の販売などにもご協力いただいた。



豚の丸焼き



ボランティアさんによる手品(ステージ)

#### 4 管理部門

##### (1) 労務管理

変形労働時間の継続を行っている。働き方への多様な希望も出ているため、短時間正社員制度の導入などを見据えて就業規則の見直しなどを実施してきた。4月からはハラスメントなども記載した就業規則に変更している。

ハラスメントに関しての取り組みはより充実化が求められており、改善していきたいと考えている。

##### (2) 職能評価の実施

特定処遇改善手当に対しての職能評価を働く上での目標作成や定期的な振り返りを行うため D-cupシートを中心として行うこととした。それぞれに4月に目標を作成し取り組んでもらったあとに面接を行った。職能評価については、課題も多いと感じている。

##### 車両

- ・公用車、通勤車の管理について車両担当者を配置し取り組んでいる。昨年同様に担当者が車両に関する知識も高く、車両の把握、車検等の段取りなどもしっかり出来ている。また修理等への対応力から、経費の削減にもつながっている。
- ・安全運転研修を行っている。車両保険からみれば、今年度保険を使用する事故などがなかった。とはいえ小さなボディへの傷の報告はいくつか上がってきているので問題がなかったとは言えないので報告義務を定着させていきたい。
- ・安全運転管理者からは安全協会からの広報誌等の回覧の実施が継続されている。
- ・整備管理者を軸として車両の管理を行い、タイヤの交換を始め経費削減の対応まで出来ている。日常点検においては、担当車両の洗車や点検は進んでいないので、今後はより日常確認をしていくことが必要。
- ・車両の入れかえがあった。中古車の購入、新車もやまぶき財団の助成により購入することが出来た。

・有償運送の報告は担当者が実施している。

(2) 防災

1) 点検

業者による点検が、グループホームほわいと及び、おれんじにて年2回実施している。森工務店ビルのぱれっとの事業所では1回実施している。

2) 防災訓練

就労 デイサービス

令和6年6月21日 避難訓練実施 水防訓練含

令和7年3月31日 避難訓練実施

ほわいと おれんじ

令和6年6月21日 避難訓練実施

令和7年3月31日 避難訓練実施

(4) 組織体制(3月31日現在)

1) 役員 理事9名 監事1名 計10名

2) 職員 正規職員11名 契約職員2名 非常勤職員26名 計39名